

令和元年度日本小児外科学会  
第7回定例理事会議事録

日 時：令和2年3月12日（木） 11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス

出席者：田尻達郎（理事長）、山高篤行（会長・理事）、黒田達夫（次期会長・理事）、  
白井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔（以上理事）、窪田正幸、  
八木 實（以上監事）、越永従道（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、浦尾正彦（財務会  
計委員長）、照井慶太（庶務副委員長）、米田光宏（施設認定委員会委員長）、小野 滋（専  
門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員会委員長）、米倉竹夫（第35回秋  
季シンポジウム会長）、廣部誠一（第36回秋季シンポジウム会長）、菱木知郎（機関誌委員  
会委員長）、内田広夫（教育委員会委員長）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：増本幸二（副理事長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、宮野 剛（庶務委員）

議事案件：

議 事：

1. 第7回定例理事会の議事録署名人は、浮山越史理事、田中 潔理事とした。
2. 令和元年度第6回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項
  - 1) 第56回学術集会について（八木前会長）

八木前会長より資料に基づき、第56回学術集会会計報告がなされ、承認された。
  - 2) 第57回学術集会について（山高会長）

山高会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。5月の学術集会を延期するかどうかについては、3月23日に行われる臨時理事会で決定することとした。なお、社員総会については、学術集会が延期になったとして、5月20日に予定通り開催する方向で準備を進めることとし、今年に関しては次々期会長、施設認定委員、専門医認定委員の選挙を社員総会前に電子投票で行うことが提案され、承認された。

日時：令和2年5月21日（木）、22日（金）、23日（土）

会場：都市センターホテル

テーマ：小児医療システムの擁護と支援：子どもが最初、いつだって
  - 3) 第58回学術集会について（黒田次期会長）

黒田次期会長より、プログラム案等の進捗状況が報告され、承認された。日本泌尿器科学会から共同プログラムの提案があり、同セッション開催時間帯については互いの学会の行き来を認めることが承認された。

日時：令和3年4月28日（水）、29日（木）、30日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たるなかれ

- 4) 第 35 回秋季シンポジウムについて（米倉前秋季シンポジウム会長）  
米倉前秋季シンポジウム会長より資料に基づき、会計報告がなされ、承認された。
- 5) 第 36 回秋季シンポジウムについて（廣部秋季シンポジウム会長）  
廣部秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。  
日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）  
会場：一橋講堂  
テーマ：手術の新しいデバイスと工夫
- 6) 第 37 回秋季シンポジウムについて（金森次期秋季シンポジウム会長）  
金森次期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。  
日時：令和 3 年 10 月 30 日（土）  
会場：ベルサール神田  
テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用
- 7) 第 38 回秋季シンポジウムについて（野田次々期秋季シンポジウム会長）  
野田次々期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。  
日時：令和 4 年 10 月 29 日（土）  
会場：岡山コンベンションセンター  
テーマ：小児外科治療後のサルベージ
- 8) 各種委員会報告および審議事項
  - (1) 庶務委員会（藤野委員長）  
藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。  
2020 年 2 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,764 名（うち海外 1 名）、評議員 324 名、名誉会員 57 名（うち海外 5 名）、特別会員 68 名（うち海外 1 名）の合計 2,213 名である。
  - (2) 財務会計委員会（浦尾委員長）  
浦尾委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。
    - ・各種委員会に来年度の概算要求を行っている。
    - ・医師賠償責任保険の団体割引率改定について、マツオホケンサービスより 2020 年度からの割引率が 20%から 15%へ改定されることになったと報告され、また HP 上のバナー広告に興味があると報告された。
    - ・準会員を増やすための認定施設宛の勧誘文書と看護学部宛の勧誘文書をそれぞれ発送することとした。

- ・バナー広告規程案、寄付金規程案を作成し、規約委員会で確認を取ることにした。

(3) 専門医制度委員会（米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・継続審議中であった特定教育関連施設の設置について、承認された。申請初年度のため、今年に限り申請期限を5月末から6月末に変更することがあわせて承認された。
- ・新専門医制度の件、4月中に認められる方向であると専門医機構の事務局長から連絡があったと報告された。
- ・外科専門医と小児外科専門医の連動研修について、今まで通りの基準から変更することはしないことが確認された。開業医の先生方が小児外科専門医を更新するためには、出身大学等で必要な臨床経験を積んでいただき、小児外科専門医を更新してもらうことが確認された。
- ・日本外科学会から4月に行われる予定であった学術集会が8月に延期になったと報告があり、小児外科専門医の申請期限は8月末なので直接の影響は無いことが確認された。ただし、本会の学術集会がもし9月に延期になった場合には、影響があるため、対策を検討することとした。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事、菱木委員長）

大植担当理事および菱木委員長より、以下の点について報告され、承認された。

- ・優秀論文の選定について、原著論文は以下の論文が選定され、承認された。

大林 樹真, 小池 淳樹, 古田 繁行, 田中 邦英, 長江 秀樹, 北川 博昭. 胆道閉鎖症における ductal plate malformation と肝線維化の関係. 55 巻 6 号 1061-1065 頁

また、症例報告に関しては、以下の論文が選定され、承認された。

杉田 光士郎, 川野 孝文, 森口 智江, 大西 峻, 池江 隆正, 児玉 祐一, 西川 拓朗, 岡本 康裕, 加治 建, 家入 里志. 異なる経過をたどった小児大腸癌の 2 例. 55 巻 5 号 968-976 頁

- ・クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの具体案が提案され、承認された。

CC BY NC SA（原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせの CC ライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができる CC ライセンス）の付与。

CC ライセンスは今後出版される論文の PDF 右下に表示されるほか、J-stage の本学会誌ホームページ上にも表示される形とする。

- ・査読者の守秘義務を明記した査読の手引き改訂が提案され、承認された。

(5) 国際・広報委員会（田尻担当理事、仁田尾事務局）

田尻担当理事および仁田尾事務局より、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・各委員会に募っていたホームページの更新要望について進捗が報告され、残りはワークライフバランス検討委員会（更新内容の連絡待ち）、小児救急検討委員会（災害支援要請ページ）、学術・先進医療検討委員会（動画ページ、マイメド社）であると報告された。

- ・小児外科医を目指す方への研修施設、小児外科専門医のいる病院は掲載完了済み。
- ・マイメド社から、動画ページに広告を載せていいか打診があったと報告があり、広告を載せる企業を事前にお知らせいただくことを条件に承認された。

#### （6）保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・令和2年度診療報酬改定結果が報告された。

#### （7）教育委員会（大植担当理事、内田委員長）

大植担当理事および内田委員長より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・次回卒後教育セミナー、内視鏡手術セミナーの詳細が報告された。
- ・卒前アンケートの回収率について9割ほど回答が集まっていると報告された。
- ・小児外科用語関連で、「優性」、「劣性」という用語について、「優性遺伝」を「顕性遺伝」、「劣性遺伝」を「潜性遺伝」とすることが日本医学会医学用語管理委員会で決定し、5年程度の期間を経た上で、「顕性遺伝」、「潜性遺伝」と表記する予定であると報告された。

#### （8）悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

#### （9）学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・ホームページリニューアルの修正箇所を確認作業を行った。
- ・先進医療及び学術的情報収集として、令和2年2月14日にAMED「小児医薬品の実用化に資するレギュラトリーサイエンス研究」研究班班会議及び小児関連学会代表委員との情報交換会に、当委員会補佐の東北大学小児外科和田基先生が出席し情報交換を行ったと報告があり、簡単な報告書の作成を依頼することとした。
- ・小児外科領域でのエビデンス：systematic review 論文の紹介について、現在委員による要約作業中である。
- ・新生児全国調査の進捗状況が報告された。
- ・トランジション検討委員会から審議依頼があった「トランジション実態調査」に関し、最終的に「回答者の負担」の軽減策については、意見が一致しなかったと報告があり、

トランジション委員会から事務局に修正版を出して、メール審議を行うこととした。また、全国規模の学術アンケート調査に関する規定については、委員会で作成したものが含まれるかが明確ではなかったため、その点を更新することが承認された。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・HP上に来年度のNCDデータを利用した研究申請について掲載をした。
- ・今年度のNCDデータ(複数領域)を利用した研究申請について、3月にヒアリングとしてNCD側と名古屋大学とでやり取りしていると進捗が報告された。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・昨年10月14日に行われた小児救急連絡協議会において、日本小児科学会から本会HPに掲載している小児救急患者受け入れ状況のページをリンクしたいという申し出があったと報告がされたが、そのような依頼が学会宛には届いていないため、様子を見ることとした。
- ・新型コロナウイルスが収束後に新型コロナウイルス関連の情報をまとめる予定である。

(13) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・第7回WLB講演会のアンケート結果が報告された。

(14) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・認定施設宛に認定施設におけるトランジション実態調査（改定案）を行う予定である（後日申請書を修正し、メール審議を行う）。

(15) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

- ・理事会内規の整理を行い、公開するものしないものなどに分類わけした資料が提出され、次回理事会までに確認してほしいと依頼された。

(16) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

・着床前診断(PGT-M)に関する倫理審議会について、第 2 回については延期になったことが報告された。

(17) NCD 連絡委員会 (臼井担当理事)

臼井担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

・NCD-P オーディット (サイトビジット) におけるインシデントについて、本年 2 月末に、NCD での調査症例抽出作業のミスにより、ある小児外科施設の 30 例分の症例リストが他施設に送られるという事案が起こったが、具体的な個人情報の漏洩には至らなかったと報告された。当該施設小児外科部長に、委員長名で事実関係報告と謝罪を行い、後日理事会で協議の上で施設に対し正式な謝罪と再発防止策の提示を行うことをお約束することで、オーディット自体は予定通り行われた。一方で NCD 側も事態の重大性を認識し、NCD 代表理事名の報告書 (謝罪文) が学会に届くとともに、リスト流出施設とリスト送付施設に対しても謝罪文を送る用意があるとの連絡が来た。上記 NCD からの謝罪文内にも NCD からの再発防止策が提示されているが、当委員会でも改善要望と解決策の案を検討した。委員長名で対象の施設に謝罪していることや、学会側の過失ではなく、NCD 側の過失ということもあり、学会としてはこれ以上の対応は行わないことが確認された。

・学会としての小児外科専門医の地域ごとの適正数を判断するための基礎データについて、2019 年 12 月に開催された総合調整委員会において議論された「指標の算出は都道府県単位で行うように」との意向を受け、当初案の各種「手術件数」に加えて、「手術時間」を追加した【項目解析案】を作成し、2 月 23 日に NCD に見積もりを依頼した。3 月 6 日に、NCD より「おおよその予算感として、通常の NCD データを利用した研究 1 件と同程度」とみなして 100~150 万円程度との回答を得た。また、NCD からは「解析するのであれば、可能なら論文にして欲しい」との希望が出された。「解析項目の削除によって、ある程度の予算圧縮も可能」とのことであったが、今回の見積もりには、SE の作業に関わる時間と人件費から積み上げた計算根拠が示されていないため、【項目解析案】を修正する立案ができない。そこで NCD に対して、再度詳細な積み上げ根拠のある見積もりを依頼することとし、現在回答待ちである。

・NCD-P 仕様の改訂と動作確認について、順調に稼働している。

・Q & A について、過去の問い合わせについての見直し・改訂を行った。学会ホームページの全面改修完了の告知と内容確認依頼が先週届いたため、現在確認中である。

・Audit とサイトビジットについて、2019 年度の 4 施設が終了した。

・NCD 小児外科領域アニュアルレポートについて、できるだけ学術集會に間に合うよう NCD に依頼中である。

・小児外科学会術式一覧の改訂検討について、まだ具体的に着手されていないため、今後、専門医制度委員会庶務委員長と相談予定である。

・第 2 回腎盂形成 NCD 登録検討 WG 委員会について、2020 年 1 月 20 日に開催され、CRF について議論が行われた。

(18) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・「医療スタッフの放射線防護に係るガイドライン」班会議に参加し、その報告がされた。

(19) 利益相反委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(20) 総合調整委員会（田尻理事長）

増本委員長が欠席のため田尻理事長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告がなされた。

- ・日本小児期外科系関連学会協議会について
- ・専門医制度委員会からの報告
- ・正味財産増加案（財務会計委員会からの増収案の提案）
- ・学術集会のあり方について
- ・理事会のあり方について
- ・学会としての小児外科専門医の地域ごとの適正数の検討
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方についての提言
- ・学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策は何か
- ・海外における手術症例を利用した専門医・指導医育成システム作りについて
- ・その他（報告事項・検討事項）

(21) 日本外科学会理事会報告（田尻理事長）

田尻理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(22) 四者協報告（田尻理事長）

田尻理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

9) 2019年度事業報告・2020年度事業計画について（藤野庶務委員長）

藤野庶務委員長より資料に基づき、2019年度事業報告・2020年度事業計画の原案が提示され、各委員会で追記する事項があれば4月末までに事務局まで連絡することとした。

10) 名誉会員・特別会員推戴について（田尻理事長）

審議の結果、以下の5名を本年度推戴候補者として内諾を確認の後、評議員会に諮ることとした。

名誉会員推戴候補者：前田 貢作先生

名誉会員推戴候補者：田口 智章先生

特別会員推戴候補者：秋山 卓士先生

特別会員推戴候補者：植村 貞繁先生

特別会員推戴候補者：河野 美幸先生

#### 11) 2020 年度理事会日程調整について（田尻理事長）

2020年度の定例理事会日程を確認し、第2回までが以下のように了承された。第3回以降については後日メールにて日程調整することとした。

第1回 令和2年 5月23日（土） 11:45～12:30

第2回 令和2年 6月24日（水） 11:00～16:00

#### 4. 報告事項

##### 1) 理事長報告（田尻理事長）

- (1) 医学書院からの寄贈本「医学研究者名簿 2019-2020」を受領した。
- (2) 外科系学会社会保険委員会連合からの寄贈本「外保連試案 2020」を受領した。
- (3) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.369」を受領した。
- (4) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.370」を受領した。
- (5) 日本医学会からの寄贈 DVD「腸内細菌は健康と疾患の根源か？」を受領した。
- (6) 日本医師会からの寄贈本「日本医師会女性医師バンク 12年の歩み」を受領した。
- (7) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER3月号」を受領した。
- (8) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.195」を受領した。
- (9) さいたま市からの通信文「名義使用報告書」を受領した。
- (10) 日本外科学会からの通信文「第 120 回日本外科学会定期学術集会の開催日程変更のお知らせ」を受領した。
- (11) 日本医学会からの通信文「女性医師支援に関するアンケート調査結果（ご報告）」を受領した。
- (12) 日本感染症学会からの通信文「先進的感染症検査マップ公開について」を受領した。
- (13) 日本医学会からの通信文「緊急避妊に係る対面診療が可能な産婦人科医療機関等の一覧の公表について」を受領した。
- (14) 日本医学会からの通信文「日本学術会議 公開シンポジウム開催のお知らせ」を受領した。
- (15) 慶應義塾医学振興基金からの通信文「第 25 回慶應医学賞候補者推薦のお願い」を受領した。
- (16) 日本医学会からの通信文「研修会・講習会・講演会等の開催時の託児サービス併設マニュアルについて」を受領した。
- (17) 日本医学会からの通信文「Metal-on-Metal 人工股関節装用患者の MRI 検査に関する情報提供の徹底について」を受領した。
- (18) 日本医学会からの通信文「臨床研究法のあり方検討委員会からの報告について」を受領した。



(19) 日本医学会からの通信文「世界保健機関(WHO)による新型コロナウイルスに関する「疾病、傷害及び死因の統計分類第 10 版(ICD-10)」における対応について」を受領した。

(20) 日本外科学会からの通信文「ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する結腸・直腸癌，食道癌）の作成及びニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌，悪性黒色腫，頭頸部癌，腎細胞癌，古典的ホジキンリンパ腫，胃癌及び悪性胸膜中皮腫）の一部改正について」を受領した。

(21) 日本医学会からの通信文「第 87 回日本医学会定例評議員会（書面決議）について」を受領した。

(22) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用者を対象とした研修の取扱いについて」を受領した。

(23) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて」を受領した。

(24) 日本医療研究開発機構からの通信文「医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて」を受領した。

(25) 「外科系サブスペシャリティ領域緊急協議」を受領した。

(26) 「学術集会の在り方アンケートの結果（日本外科学会）」を受領した。外科系学会の開催頻度が多く会員の負担になっているとアンケート結果が報告され、来年、再来年と協議を続け 5 年後 6 年後を目途に外科系関連学会の合同サージカルウィークができればと検討していると報告された。

(27) 「令和元年度第 2 回日本外科学会学術委員会」を受領した。

## 2) 次回臨時理事会日程の確認（田尻理事長）

次回理事会は令和2年3月23日（月）19：00～20：00 各施設からWebExにて開催することが確認された。

理事長

理事

理事